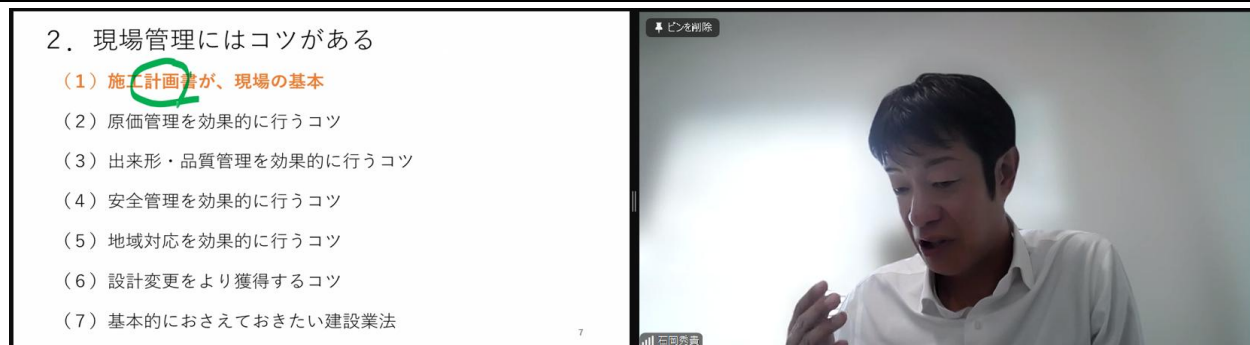


■建設業の新人技術者を対象に、現場において活用できる点検や段取り、管理手法等を学ぶ研修を開催しました。



建設業初任者向けに建設技術者として必要な基本知識を確認するとともに、現場において新人技術者が実務として活用できる点検や段取り、管理手法等を学ぶ研修を開催しました。

※なお、本研修はZoomを使用したオンラインセミナーとして開催しました。

- 1 日時 令和7年5月27日（火） 13：30～16：30
- 2 場所 オンライン会議システム（Zoom）を使用したライブ配信（会社等からオンラインで受講）
- 3 対象者 岐阜県内に本店が所在する建設関連企業の社員（主に新人技術者向け）
- 4 参加者 11社 16名
- 5 内容

時 間	研 修 内 容	講 師
13:00～13:30	（受付）Zoomの設定や操作について説明があります。13時20分までに接続してください。	
13:30～15:00	1. 現場技術者の本質的な役割 2. 現場管理にはコツがある (1) 施工計画書が、現場の基本 (2) 原価管理を効果的に行うコツ (3) 出来形・品質管理を効果的に行うコツ (4) 安全管理を効果的に行うコツ (5) 地域対応を効果的に行うコツ (6) 設計変更をより獲得するコツ	株式会社建設経営サービス 講師 石岡 秀貴 氏
15:00～16:30	3. 技術者の一番大事な技術 (1) 計画、段取りこそ技術の根幹 (2) 工程計画の基本 (3) 工程計画の工夫による工期短縮 4. これからの時代の現場技術者に必要なこと (1) 仕事における8段階のステップ (2) 人を動かす技術	
16:30	閉講	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（（公財）岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 3ユニット（認定講習）
- 8 受講者の感想
 - ・ 工程表についてより理解が深まった。
 - ・ 施工計画がとても分かりやすかった。

以上